寛政八年

諏訪下司話説　京傳作
重政画　合三冊

へ13
2946
45

45
へ13
2946
45

東京傳

諺下司話說自叙

人の撒く屁ハ臭し我撒く屁ハ臭わし
臭しとも思ひ〳〵ぬも大切下賤男も禍屁上啓て
臭ければ臭ゝ臭ゝ上天乃屁ハ色もなく香もなし
故屁別傳不知文珠支の菩薩屁を放て
屁をすかめる丈等が眼光りそくしてす
ゝひのゝ其為〳〵百日の洗濯も俄屁一つと洗
の外我人の屁と臭〳〵せバ人亦我屁を臭〳〵と
せん一薫一莽尚〳〵臭さ車にのり柳ハ翠屁ハ黄
色〳〵とも香とも撒く人ぞしる

寛政八丙辰春

烟草袋舗ま丸の〳〵

山東京傳戯題

人

男の体

玉ヤア

京傳作
花